

## 第2学年 国語

### 第2学年の学習到達目標

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

### 第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	一 たのしく声に出して読もう のはらのシーソー おがわのはる たけのこくん	場面の様子や人物の気持ちを想像し、読み方を工夫して音読する。	場面の様子を思いつくかべながら声に出して読む。[発音と姿勢]
	丸、点、かぎをつかおう/ことばのひろば	丸、点、かぎの働きを理解し、正しく使って文章を書く。	句読点、かぎかっこ
	二 みんなの前で話そう 教えてあげる、たからもの	伝えたいことを明確にして、声の大きさに注意してはっきり話す。	自分の宝物について、みんなの前で話す。
	手紙で知らせよう	知らせたい相手を選んで手紙を書き相手や目的にあった文章を書く。	毎日の出来事を身近な人に手紙で書く。
	かたかなで書こう/ことばのひろば	片仮名で書く言葉についてまとめ、正しく使う。	片仮名で書き表す言葉
	三 じゅんじょに気をつけて読もう たんぼぼ	順序に気をつけて、説明されている事柄を読み取る。	順序に注意して説明文の内容を読み取る。
	四 ようすや気もちをそうぞうしながら読もう 雨の日のおさんぼ	場面の様子や人物の気持ちを想像しながら物語を読む。	人物の様子や気持ちを想像しながら読む。
	まよい犬をさがせ	物の様子が分かりやすく伝わるように大事なことを落とさずに話す。	もの様子を分かりやすく伝えるための話し方、聞き方を知る。
	かん字の書き方に気をつけよう/ことばのひろば	漢字の筆順と画数を理解する。	漢字の筆順・画数
	五 だれがなにをしたかを考えながら読もう ニャーゴ	時間的順序にそって物語の展開を読み取り、人物の言動と気持ちを想像する。	物語の順序に注意して読む。登場人物の会話や行動を読み取る。
	じゅんじょを考えて	事柄の順序に注意して文章を書く。	体験を順序よく文章に書く。文章を推敲する。
	六 じゅんじょよくせつめいしよう 「おもちゃまつり」へようこそ	おもちゃの作り方や遊び方を、順序に気をつけて分かりやすく説明する。	おもちゃの作り方や遊び方について、順序に気をつけて説明する。
後期	一 たのしいお話をたくさん読もう 名前を見てちょうだい	出来事の順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読み、読んだ本のおもしろかったところを紹介する。	登場人物の言葉や様子を読み取る。いろいろな本を読んで紹介する。(読書)
	かんじたことを	思ったことや感じたことを短い言葉で書く。	毎日の生活の中で感じたことを詩に書く。
	二 どうぶつのひみつをみんなでさぐる ビーバーの大工事	動物の暮らしに関心を持ち、順序に気をつけて書いてあることを読み取る。	説明されている事柄を順序に注意して読み取る。 本で読んで知りたいことを調べる。
	組み合わせたことばをつかおう/ことばのひろば	複合動詞の構成や意味を理解し、言葉に関心を持つ。	複合動詞

三 見学したことを文しょうに書こう わたしの見学ノート	身近なお店や工場を見学したことを、 順序を考えながら、文と文の続き方に 気をつけて書く。	見学して気づいたことや分かったこと を順序立てて書く。
組になることばをあつめよう/こと ばのひろば	組になる言葉に関心を持ち、言葉を集 めたり分類したりする。	組になる言葉や言葉の類別
四 いろいろなあそびについて話し合 おう せかいのかくれんぼ	遊び方の順序に気をつけて読み取り、 話題にそった話し合いの仕方を学ぶ。	遊び方の工夫についてグループで話し 合う。
主語とじゅつ語に気をつけよう/こ とばのひろば	主語と述語の働きを理解して、正しい 文を書く。	主語・述語
五 むかし話のおもしろさをあじわお う かさこじぞう	人物の言動を中心に、出来事の順序に 注意して様子や気持ちを想像しながら 読む。	場面の様子をとらえ、登場人物の言動 から人柄を読み取る。 いろいろな昔話を読む。(読書)
おくりがなに気をつけよう/ことば のひろば	送り仮名について理解し、送り仮名に 注意しながら正しく漢字の読み書きを する。	送り仮名
六 書き方をくふうして 「きせつの思い出ブック」を作ろう	2年で学習したいろいろな書き方を生 かして、季節の思い出を文章に書く。	季節の思い出をいろいろな形の文章に 書く。

### 評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで 読書したりしようとする。</p> <p>【話す・聞く能力】 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話し たり、大事な事を落とさないで聞いたりする。</p> <p>【書く能力】 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文 の続き方に注意して文や文章を書く。</p> <p>【読む能力】 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的 な事項について理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>学習意欲や思考力・判断力・表現力 の重視 知識や理解、技能だけでなく、児童 の学習意欲や思考力・判断力・表現力 を重視して評価します。</p> <p>多目的な評価 ペーパーテストだけでなく、発言、 ノート、作文、自己評価、相互評価、 毎時間の伸び等様々な面から評価しま す。</p>
--	---

### 特色ある学習方法

- (1) 漢字当てっこゲームやどうぶつのひみつクイズやことば合わせゲームなどを行い、楽しみながら学習します。
- (2) 手作りおもちゃの作り方やお話会、音読劇などを発表します。
- (3) 調べ学習では、学校図書館や学級文庫などで調べます。

### 使用教材等

教科書「新しい国語2年」(東京書籍)    くりかえしかんじドリル    かん字のがくしゅう    音読詩集

### 留意事項

- 家庭での音読・漢字練習にご協力をお願いします。
- (1) 文章を正しくすらすらと読めることは内容理解につながります。音読の宿題を出しますので、聞いてあげてください。そして、家庭の団らんの時間にお子さまの伸びを話し合ってください。
  - (2) 漢字の定着を図るには、日々の練習が大切です。学校では筆順や読み方を中心に学習します。家庭でもノートに練習して定着を図るなど、ご協力をよろしくをお願いします。